

## お 知 ら せ

### 北海道医療大学看護福祉学部学会 第11回学術大会のご案内

#### －メインテーマ－

#### 感染予防の新たな展開：グローバルに考え、ローカルな行動実践

本学会では、北海道医療大学看護福祉学部と同窓生や在学生、教員等の学術的研鑽および交流を図ることを目的として、毎年の事業計画の一環として学術大会を開催しております。

近年、感染症対策は感染拡大を防ぐために、国や地域の境界を越え、グローバルな視点を持ち広域な規模の変化に対応することが求められています。同時に、医療と介護施設、在宅の人々へのローカルな視点を持った感染予防も必要です。そこで、第11回学術大会は、メインテーマを「感染予防の新たな展開：グローバルに考え、ローカルな行動実践」と題し、第I部では、感染予防の医療製品を医療施設にコンサルティングしながら紹介・販売している企業の社長兼経営責任者である、草場氏を迎えご講演いただきます。医療とイノベーションは、一見相容れない概念に思われますが、2つはとても重要な関係にあります。企業において、イノベーションは生き残るために不可欠で、そしてイノベーションのために人材育成が重要です。事例を通して感染予防のためのイノベーションについて考えます。また、第II部では、地域における感染症予防のリーダーとして、第一線で活躍されている看護職・福祉職の方々からご発言をいただき、ローカルな行動実践について議論いたします。是非多くの方にご参加いただき、感染症予防について考える機会としていただければ幸いです。

第11回学術大会長 塚 本 容 子 (北海道医療大学)

1. 日 時 2014年 9月 6日 (土) 午前10:00～
2. 会 場 北海道医療大学札幌サテライトキャンパス・ACU  
札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45 12階・16階
3. プログラム
  - 講 演 (北海道医療大学看護福祉学部同窓会セミナー共催)  
「コペルニクスの転回：感染予防のためのイノベーション」  
草場 恒樹氏 (株式会社モレエンコーポレーション President & CEO)
  - 総 会
  - シンポジウム 「ローカルな行動実践：地域における感染症予防」  
座長 石川 秀也・杉田 久子 (北海道医療大学)
    - ・林 久美子氏 (倶知安厚生病院 看護部長)
    - ・石角 鈴華氏 (喜茂別町立クリニック 診療看護師)
    - ・佐々木 剛氏 (特別養護老人ホーム 真狩羊蹄園 施設長)
  - 研究発表
  - 懇 親 会 (京王プラザホテル)
4. 参加費 講演会のみは無料、学術大会：2,000円、懇親会：3,500円程度予定
5. 問合せ先

北海道医療大学看護福祉学部学会 第11回学術大会実行委員会

学会ホームページ <http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~nsgakkai/>

Mail: [gakkai11kai@hoku-iryu-u.ac.jp](mailto:gakkai11kai@hoku-iryu-u.ac.jp) FAX: 0133-23-1426 (学会事務局)